

改良型チタン酸アルミニウムの特性

発表概要

- 1000℃を超えるサーマルショックに耐える超耐熱衝撃性セラミックス『RECOXIT』の技術説明と用途展開について
- 次世代DPF材料『RECOTHERM』の紹介

発表目的

- 非鉄金属を溶解されている顧客開拓
- 各種熱処理工程に用いられる炉材を取り扱う顧客開拓
- 『RECOXIT』セラミックス製造に関する特許ライセンスにご興味のある顧客開拓

オーセラ株式会社 代表取締役社長 福田 匡洋
info@ohcera.co.jp
http://www.ohcera.co.jp

OHCERA

第38回ナノビズマッチ

『RECOXIT』について

RECOXITとは？

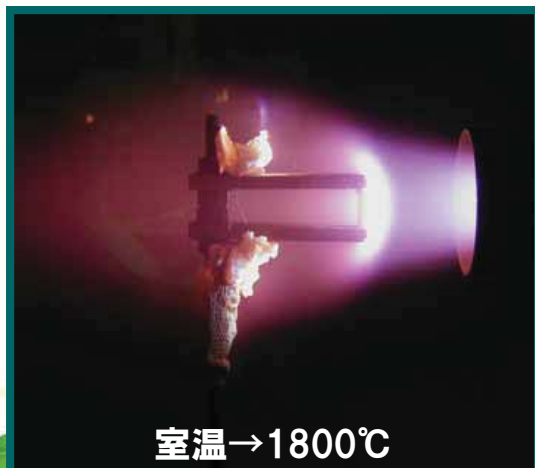
Resist-Corrosion-Oxideからの造語

RECOXIT原料: アルミナ、酸化チタン、シリカ、他

基本組成: チタン酸アルミニウム



1300℃→0℃



室温→1800℃

耐熱衝撃性に優れる

OHCERA

第38回ナノビズマッチ

従来チタン酸アルミニウムとの違い

チタン酸アルミニウム(Al_2TiO_5 =AT)の特性

【長所】

- 耐熱性
- 耐熱衝撃性
(小さい熱膨張係数)

【短所】

- 低い実体強度
- 熱分解温度域を持つ
(850~1280℃)

改良型ATセラミックス『RECOXIT』は、
これまでのATセラミックスが持つ2つの欠点を克服し、
更に焼結性、成形性、加工性においても実用的な改善を
成している。

『RECOXIT』製品を使用するメリット

優れた耐熱性・耐熱衝撃性



- ① 急熱・急冷焼成工程の採用によるタクトタイムの短縮
- ② 従来の耐火物よりも長寿命



産廃量を削減し、
トータルコストと環境負荷を低減



コウ鉢・セッター



様々な異形状部材



温度計保護管